

北大江地区まちづくりサインデザイン募集結果について

北大江地区まちづくり実行委員会 委員長 八木治助

1. 趣旨

北大江地区まちづくり実行委員会は、平成 10 年に発足した大阪都心(天満橋駅付近)のまちづくり団体で、「住み、働き、学び、遊ぶ、全てが快適な都心づくり」を目指し、住民と企業や官公署、学校等の事業所、従業者等が分け隔てなく協力しあって活動をしている。

上町台地、大川、大阪城といった環境に恵まれ、楽器工房やギャラリー、デザイン事務所などが立地するまちの魅力をより多くの人に知ってもらうため、手づくりコンサートなどのまちづくりイベントに合わせた工房公開・オープンアトリエなどを開催することとした。(平成 22 年度は上町台地マイルド HOPE ゾーン協議会(<http://www.uemachi-hope.net>)まちづくり提案選定事業として実施。)

この際、工房公開やオープンアトリエなどを実施している場所を示し、まちに彩を加えるために使用する玄関先等のサインのデザインを募集し、応募作品から採用作品を選定した。

2. 募集期間

平成 22 年 9 月 6 日(月)～9 月 24 日(金) 郵送は当日消印有効

3. 広報の方法

- ・ 北大江地区まちづくり実行委員会の会報とともに会員に配布すると同時に、9 月 1 日よりホームページ(<http://kitaooe.cocolog-nifty.com>)に掲示。
- ・ 電子メールにより、各新聞社に募集を通知し、日刊建設工業新聞(9 月 15 日)、産経新聞(9 月 18 日紙上およびホームページ)、読売新聞(9 月 19 日)に掲載。

4. 応募作品数

- ・ 応募作者数 14 名(連名作者 1)、応募作品数 20 点(うち 2 点×2 は製作意図共通)

5. 審査

(1) 審査員

- ・ デザイン関係の専門家 佐藤貞夫(イラストレーター)
- ・ 北大江地区まちづくり実行委員会副委員長 佐野吉彦(株安井建築設計事務所社長)
- ・ 工房公開等への協力事業所からの代表 平尾恭子(Le pur 代表取締役)

(2) 審査方法

- ・ 事務局において、全応募作品を A3 サイズ白紙カラープリントに統一し番号を添付。(紙上の製作意図や氏名等は消して作成)番号ごとに転記した製作意図を添付し、審査会までに各審査員に配布し、事前審査を実施。
- ・ 平成 22 年 10 月 1 日(金)午後 3 時より、株安井建築設計事務所会議室において 3 審査員が集まり審査会を開催。1 点を採用作品として選定した。

6. 採用作品応募者(採用作品別添)

中本 竹識 (北九州市小倉北区)

7. 審査講評

北大江地区のまちづくり活動の手づくり感とほんわかとした暖かさが伝わってくる作品であり、遠くから見てわかりやすくインパクトがある。様々な活動に力をあわせて楽しんで取り組もうというまちづくりの姿勢を後押ししてくれるだろう。

なお、審査委員会から事務局に対し、採用作品の著作権が今後帰属する上町台地マイルド HOPE ゾーン協議会に対して、採用作品が収益目的に使用される際には、採用作品応募者と使用に関して協議を行なうことを申し入れるよう要請があった。

短い募集期間にもかかわらず多くの力作に応募いただきました皆さんありがとうございました。

(別添)

